

2015年7月号 小島薬局漢方堂



# パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます

## 認知症の予防・抑制にも漢方薬を試す価値あり

7月に入り本格的な梅雨を迎え、より一層ジメジメ蒸し暑くなってきました。今回は認知症と漢方薬についてです。認知症は物忘れ、情緒不安定、不眠、徘徊、幻覚などの症状が見られる、いわゆる脳の知能機能が衰えたために引き起こされる病気です。本人だけでなく、家族の生活にも影響を与えるために、非常に厄介な病気です。今では年々増加しており、65歳以上でも約5人に1人が認知症であると言われていています。

病院や西洋薬でも改善や進行を遅らせる事はなかなか難しいのが実情です。そのためか漢方などによる対処法が研究され、学会などでも発表されています。研究が盛んな漢方薬には『冠元顆粒』があり、動物レベルでは認知症に対して大きな効果が報告されています。人においても徘徊や暴力といった「周辺症状」が改善したという研究データが出ています。認知症は「脳への血行不良」が大きな原因の一つと言われています。『冠元顆粒』は血行を改善し、抗酸化作用にも優れた漢方薬ですので認知症に対しても有効です。まずは冠元顆粒から始められると良いと思います。

さらに疲れやすい症状がある方は『心脾顆粒』、血行不良を感じる方は『シールパ100』を一緒に服用されるとより効果的です。

自分ではなかなか気づきにくく、人によっても症状は様々ですので、ご自身で「最近物忘れが多くなったな…」やご家族が「認知症かな…」と思いがたれる方はぜひご相談ください。

平成24年から漢方スタッフとして活躍してくれた田中 友也が7月15日で退社し、実家の漢方薬局に帰ります。皆様本当にありがとうございました。

## 夏の炎症と疲労回復の特効薬



# 紫華栄



一般的に「炎症」といえば「転んで怪我をした」「風邪で喉が腫れた」等の症状を浮かべやすいですが、それらは実は炎症の一部でしかありません。

体に存在する常在菌が原因で起きる「弱い炎症」や、全く無症状から始まり、何年もかけて体を蝕む症状が近年「慢性炎症」として認識されるようになりました。

例えば「動脈硬化」や、「メタボリック症候群」「糖尿病」など全て「炎症」だと考えられています。

もちろん人間の「老化」それ自体も炎症であるといえます。

炎症の原因になるのは体にたまったゴミ（老廃物）です。この老廃物を処理する為に免疫細胞が働き、その時に大量のサイトカインを脳は「疲労感」として認識してしまいます。

紫華栄は炎症を鎮める力と、免疫力を高め疲労回復に導く力の両方を持ち合わせた高性能な漢方薬です。

気温が上昇し、体力を奪われやすくなるこれからの季節は、病気の温床である疲れを放っておくのは本当に危険です。

いつまでも健康で若々しく活動するためにも、紫華栄での根本対策が何より有効です。



※体験談※ 50代 女性

体力を消耗しやすく、すぐに風邪を引いたりしていました。

そこで、紫華栄を1日3回1包ずつ約3ヵ月飲み続けたところ身体のダルさが消えました。

風邪を引きにくくなり、グッスリ眠れて血色も良くなり、肌に張りも生まれてきました。

紫華栄は私のための特別な漢方薬って気がします。